

事務連絡
令和3年4月26日

関係団体御担当者 各位

農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室長

農作業中の熱中症対策について

日頃より熱中症対策を含めた農作業安全対策の推進に御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、農作業中の熱中症による死亡事故は日中の最高気温が30℃を超える日が多い7～8月に多い傾向がありますが、5月頃であってもビニールハウス内等においては死亡事故が発生しており、今年に入ってから、既に当省に死亡事故の報告が寄せられています。

直近である令和元年のデータでは全国で29名の尊い命が農作業中の熱中症により失われました。これは平成30年の43名に次ぐ調査以降2番目に多い死亡者数であり、近年、増加傾向にあります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にも十分配慮しつつ、熱中症の発生が急増する時期を迎える前に、農業従事者等に対して広報誌やSNSなど様々な媒体も利用しながら、熱中症予防等に関する情報（別紙）を広く周知するよう貴職より会員等に対して御周知願います。

なお、先般、環境省から報道発表されたとおり^{*1}、本年4月28日より、地域内の暑さ指数(WBGT)が最高で33以上となると予測した場合に、環境省熱中症予防サイト等で当該情報を提供する「熱中症警戒アラート」の運用が全国で開始されます。このため、今般、当省では、アラート発出地域に在住するMAFFアプリ^{*2}の登録者に対してプッシュ通知で警告を伝えられるようアプリの改修を行っております^{*3}ので、この機会に当該アプリの登録を行うことについても、併せて積極的に御案内願います。

※1 別添「熱中症警戒アラート」の全国での運用開始について 参照

※2 農業に携わる皆さまに役立つ情報を農林水産省から直接お届けするスマートフォン向けのアプリ

※3 令和3年5月中に「熱中症警戒アラート」との連携を開始する予定

事務連絡
令和3年4月26日

北海道農政事務所 生産経営産業部長 殿
地方農政局 生産部長 殿
内閣府沖縄総合事務所農林水産部長 殿

農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室長

農作業中の熱中症対策について

日頃より熱中症対策を含めた農作業安全対策の推進に御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、農作業中の熱中症による死亡事故は日中の最高気温が30℃を超える日が多い7～8月に多い傾向がありますが、5月頃であってもビニールハウス内等においては死亡事故が発生しており、今年に入ってから、既に当省に死亡事故の報告が寄せられています。

直近である令和元年のデータでは全国で29名の尊い命が農作業中の熱中症により失われました。これは平成30年の43名に次ぐ調査以降2番目に多い死亡者数であり、近年、増加傾向にあります。

つきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にも十分配慮しつつ、熱中症の発生が急増する時期を迎える前に、農業従事者等に対して広報誌やSNSなど様々な媒体も利用しながら、熱中症予防等に関する情報（別紙）を広く周知するよう貴管下の都道府県等関係機関に対して御指導願います。

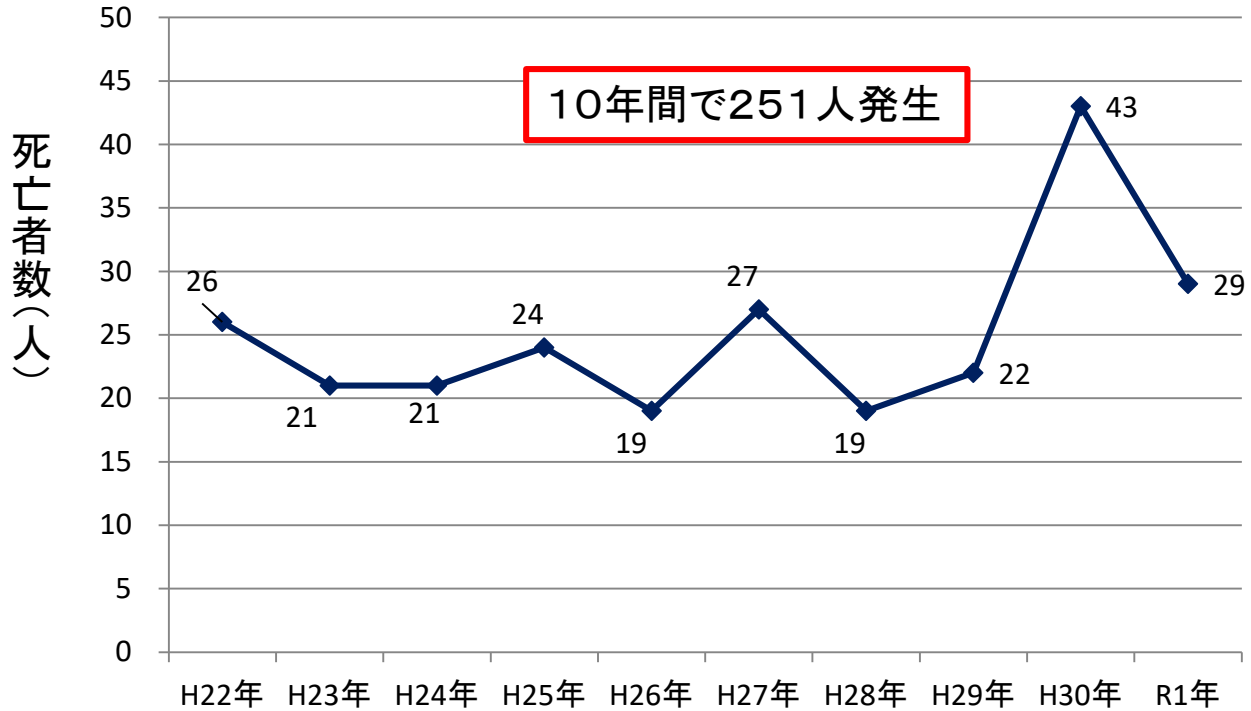
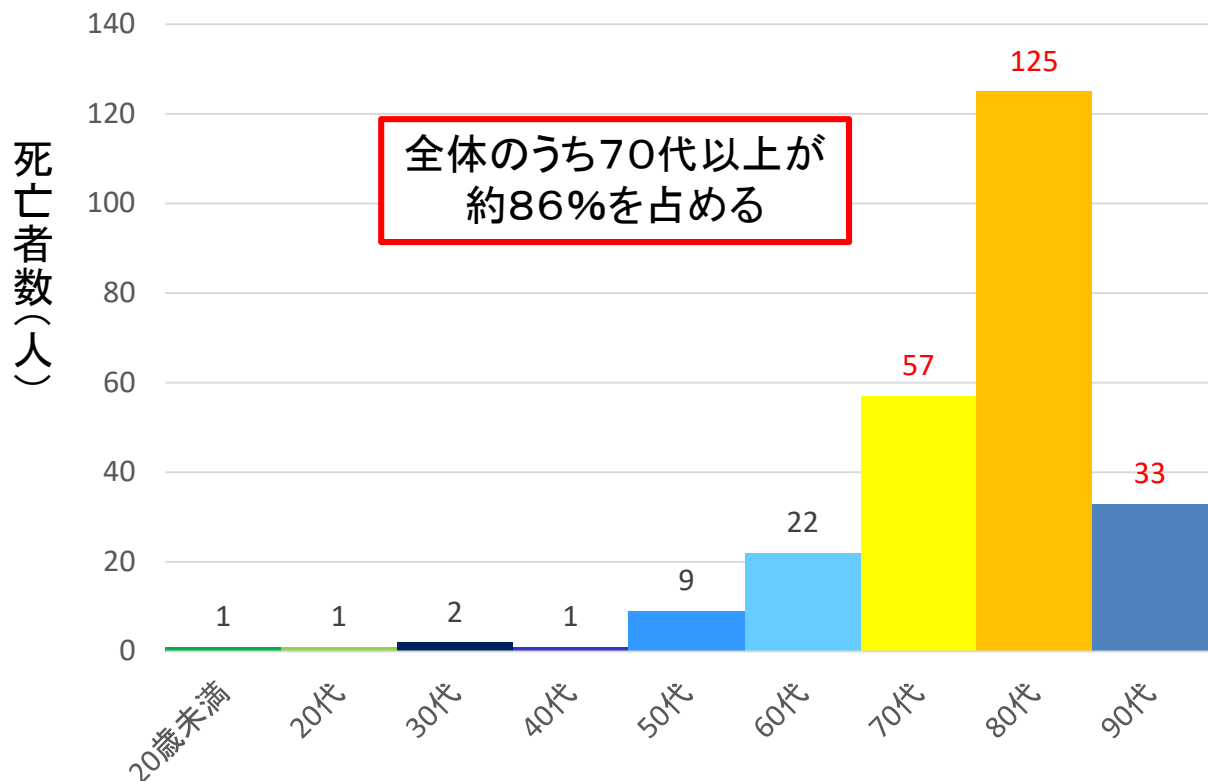
なお、先般、環境省から報道発表されたとおり^{*1}、本年4月28日より、地域内の暑さ指数(WBGT)が最高で33以上となると予測した場合に、環境省熱中症予防サイト等で当該情報を提供する「熱中症警戒アラート」の運用が全国で開始されます。このため、今般、当省では、アラート発出地域に在住するMAFFアプリ^{*2}の登録者に対してプッシュ通知で警告を伝えられるようアプリの改修を行っております^{*3}ので、この機会に当該アプリの登録を行うことについても、併せて積極的に御案内願います。

※1 別添「熱中症警戒アラート」の全国での運用開始について 参照

※2 農業に携わる皆さまに役立つ情報を農林水産省から直接お届けするスマートフォン向けのアプリ

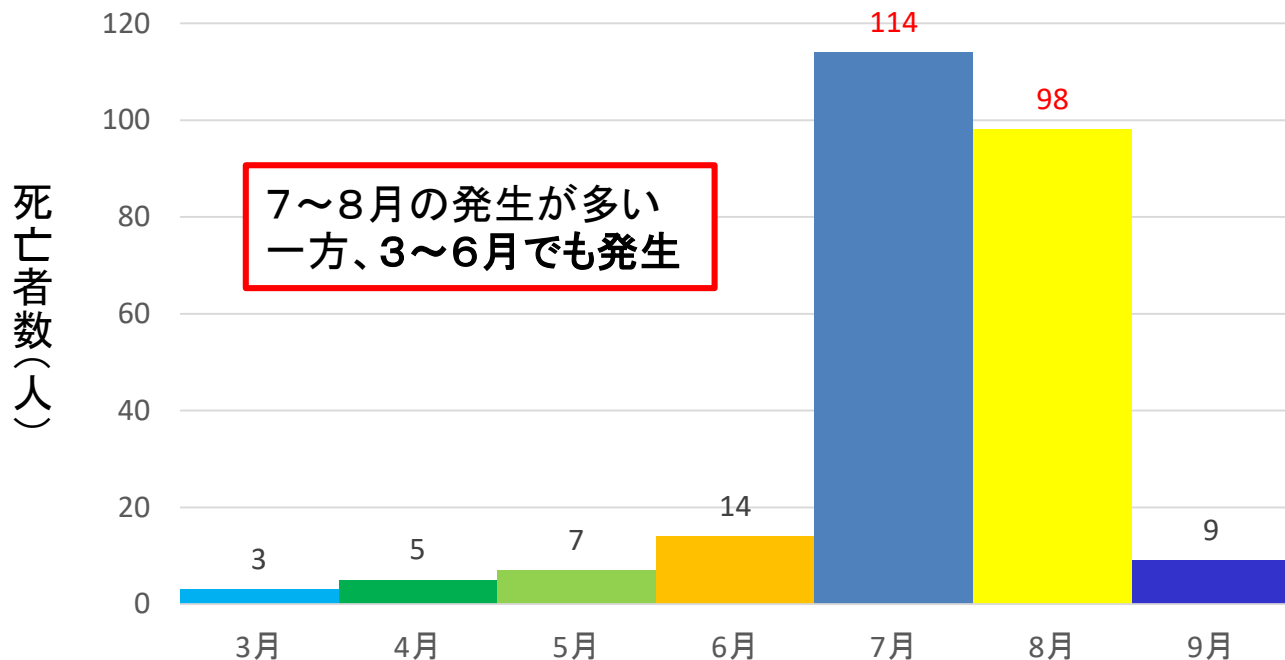
※3 令和3年5月中に「熱中症警戒アラート」との連携を開始する予定

農作業中の熱中症による死亡事故の発生状況①

農作業中の熱中症による死亡者数の推移
(平成22～令和元年)農作業中の熱中症による死亡者数
年代別(平成22～令和元年)

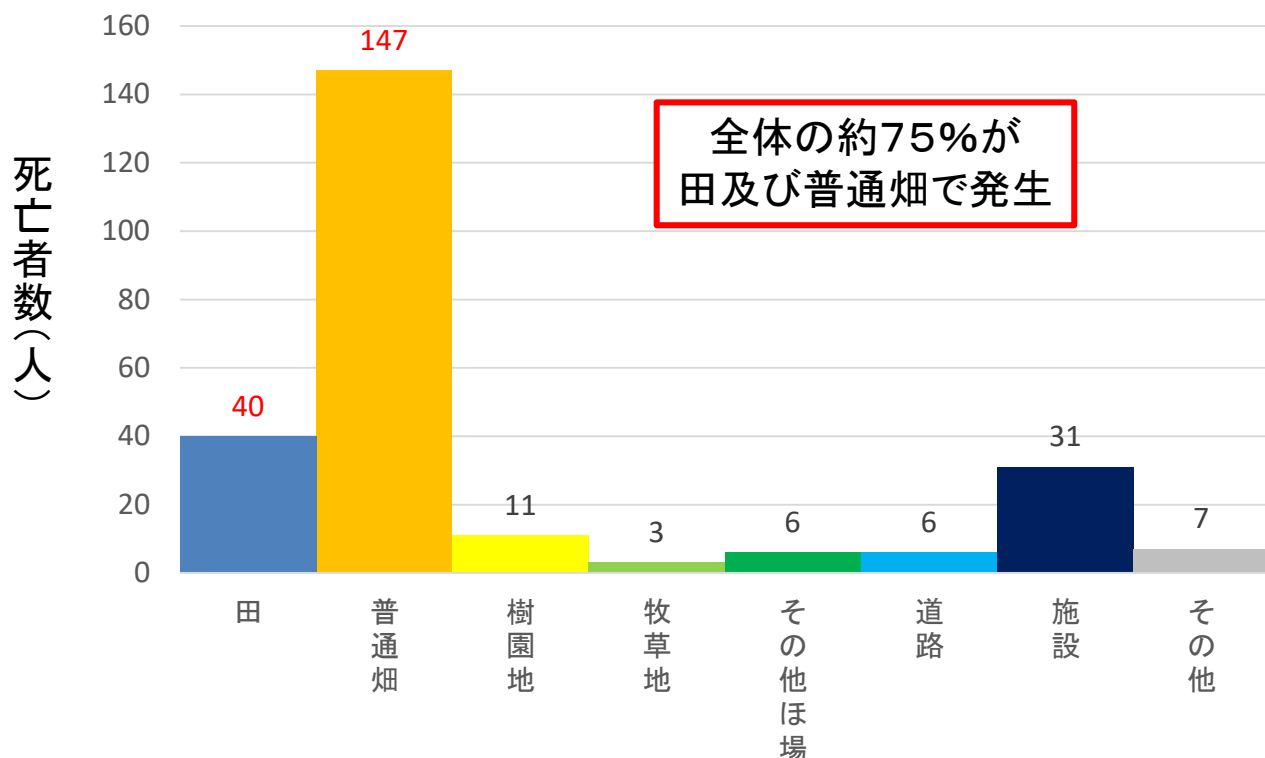
農作業中の熱中症による死亡事故の発生状況②

農作業中の熱中症による死亡者数
月別(平成22～令和元年)



※発生月が不明な事故が1件あるため、総数は他のグラフと異なっている

農作業中の熱中症による死亡者数
場所別(平成22～元年)



農作業中の熱中症による死亡事故の事例

ビニールハウス内で作業中、熱中症で死亡(80代男性)

4月某日夜、ビニールハウス内で農作業をしていた80代男性が倒れている状態で発見され、その後死亡が確認されました。当日の最高気温は26.6℃でしたが、ハウス内は高温になっていた可能性があり、現場の状況等から熱中症によるものと推察されます。

水田の畦畔での草刈り作業中、熱中症で死亡(60代男性)

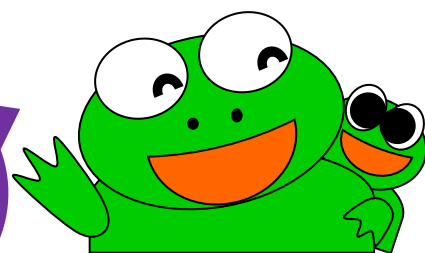
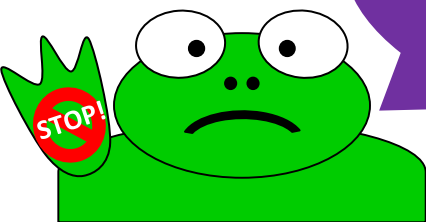
8月某日午後、午前中から水田畦畔の草刈り作業をしていた60代男性が意識不明の状態で見つかり、その後死亡しました。当日の気温は31℃に達しており、発見時には背負い式草刈り機をかけ、帽子は被っていませんでした。

畑作業中、熱中症で死亡(80代男性)

8月某日午後、畑で収穫作業をしていた80代男性が意識が無い状態で倒れているところを家族が発見し、その後死亡が確認されました。当日は晴天で、最高気温35℃を記録する猛暑日であり、午前の段階から30℃を超えていましたが、男性は朝から作業を続けておりました。

どうしてこのような事故が起こってしまったのでしょうか。
次のページから、熱中症の事故を防ぐポイントをご紹介します。

無事に家にカエルまでが農作業！



MAFFアプリと熱中症警戒アラートの連携

MAFFアプリへの熱中症警戒アラート連携イメージ(令和3年夏実装)

スマートフォンのホーム画面



MAFFアプリのホーム画面



【参考】高温注意情報(熱中症警戒アラート)は、前日夕方(17時頃)に地方(関東甲信地方など)単位の情報として発出、当日朝(5時頃)に都道府県単位の情報として発出。

MAFFアプリの登録方法



↓QRリーダーで読み取り、アプリをダウンロード



Android



iOS

↓農林水産省HP(MAFFアプリについて)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/maff-app.html>

農作業と暑さ指数について

- 暑さ指数(WBGT)は、暑さの厳しさを示す指標です。
- 高ければ高いほど、熱中症になりやすくなります。熱中症対策を行う場合、気温よりも暑さ指数を見るようにしましょう。

身体 作業 強度	作業の例	暑さ指数(WBGT) 基準値
安静	安静	33 (暑さに慣れていない人は32)
軽作業 	<ul style="list-style-type: none"> 楽な座位、立位、軽い手作業(書く、簿記など) 手及び腕の作業(点検、組み立てや軽い材料の区分け) 腕と足の作業(普通の状態での乗り物の運転、足のスイッチやペダルの操作) 	30 (暑さに慣れていない人は29)
中程度の作業 	<ul style="list-style-type: none"> トラクターや重機の操作、草むしり、果物や野菜を摘む 軽量の荷車や手押し車を押したり引いたりする 	28 (暑さに慣れていない人は26)
激しい作業 	<ul style="list-style-type: none"> シャベルを使う、草刈り、掘る、のこぎりをひく 重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする 	25 (暑さに慣れていない人は22)
極めて激しい作業	<ul style="list-style-type: none"> 激しくシャベルを使ったり掘ったりする、斧をふるう、階段を登る、走る 	23 (暑さに慣れていない人は18)

日本工業規格Z8504(人間工学—WBGT(湿球黒球温度)指数に基づく作業者の熱ストレスの評価—暑熱環境) 附属書A「WBGT熱ストレス指数の基準値表」を基に作成

お住まいの地域の暑さ指数は
こちらから見られます！

http://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

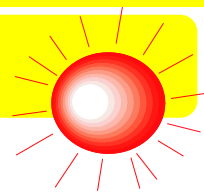


お住まいの地域の暑さ指数を毎朝
メールでお届けすることもできます！

http://www.wbgt.env.go.jp/mail_service.php



夏の農作業で心がけること

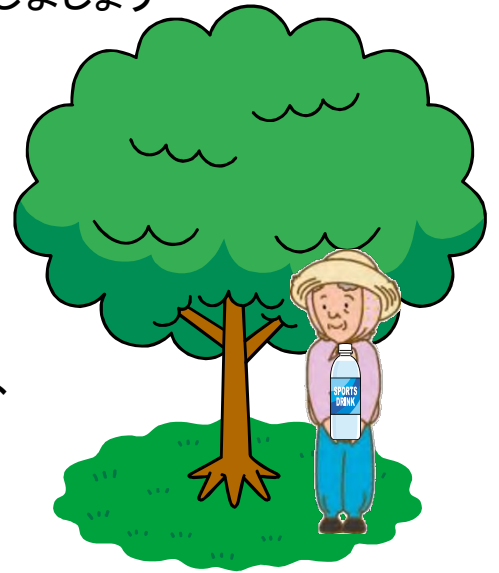


1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

- ☀ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

- ☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう
- ☀ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1～0.2%程度の食塩水（1Lの水に1～2gの食塩）、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。
- ☀ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう



3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

- ☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

- ☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

- ☀ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。
- ☀ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう
- ☀ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう

熱中症が疑われる場合の処置

1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

☀ 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がります

手足がしびれる、
冷たい

めまい、吐き気
がする

ズキンズキンと
する頭痛がある



汗をかかない、体が熱い

意識の障害がある

体がだるい

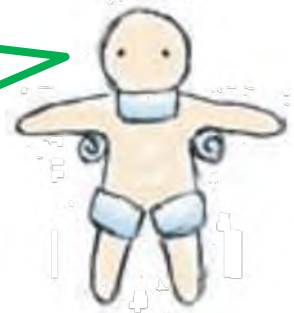
まっすぐに歩けない

2. 応急処置を行きましょう



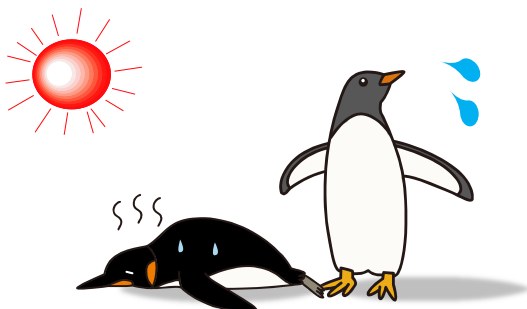
- ☀ 涼しい環境へ避難しましょう
- ☀ 服をゆるめて風通しをよくしましょう
- ☀ 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう
- ☀ 水分・塩分を補給しましょう

脇の下、両側の首筋、
足の付け根を冷やす
と効果的です



3. 病院で手当を受けましょう

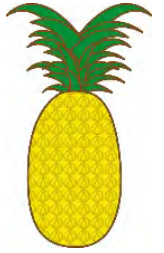
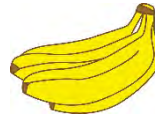
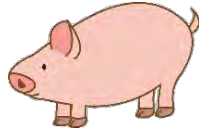
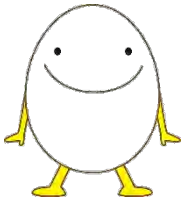
☀ 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくなる場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい



日常生活で心がけること

1. 暑くなる前に、熱中症に負けない体作りをしておきましょう

- ☀ 暑さに慣れるため、毎日30分くらい歩く習慣をつけましょう
- ☀ 暑さに強くなる食べ物を積極的にとりましょう
(ビタミンB1を含む豚肉や卵、カリウムを含むほうれん草やバナナ、クエン酸を含む梅干しやパイナップルなどが効果的です)



2. 暑くなってきたら、日々の体調管理に一段と気をつけるようにしましょう

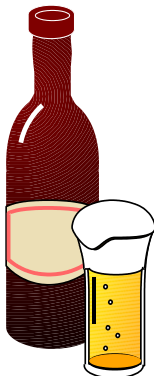
- ☀ 高血圧症・糖尿病等の持病や、睡眠不足・前日の飲酒・朝食の未摂取等は熱中症の発生に影響を与えます



朝食は作業前に欠かさず食べましょう



睡眠はしっかりとりましょう



お酒はほどほどにしましょう
(気づかないうちに脱水します)



持病がある場合や体調不良のときは
翌日の作業内容の変更などを検討しましょう

参考情報

- 熱中症対策を含む農作業安全対策全般について
農林水産省ホームページ「農作業安全対策」
http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html#necchuushou
- 熱中症予防グッズについて
全国農業機械商業組合連合会ホームページ「おしゃれな農作業ウェア」
<http://www.zennouki.org/ware.html>
- 熱中症全般について
環境省ホームページ「熱中症予防情報サイト」
<http://www.wbgt.env.go.jp/>
- 農業法人等で雇った人の熱中症予防や地域の高齢者等に対する熱中症対策の事例等について
厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/
- 気温に関する予測情報などについて
気象庁ホームページ「熱中症から身を守るために」
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>



報道発表資料

令和3年4月23日 | 保健対策

「熱中症警戒アラート」の全国での運用開始について

環境省と気象庁は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート」について、令和3年4月28日（水）から全国で運用を開始します。

[<気象庁同時発表>](#)

1. 背景・目的

近年、熱中症搬送者数が著しい増加傾向にあることから、どのように情報を発信し、国民の効果的な予防行動に繋げるかが課題となっていました。このため、環境省と気象庁は、有識者による検討会を開催し、令和2年夏に、暑さ指数（WBGT）（参考1参照）に基づき、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、新たに暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート（試行）」を関東甲信地方で先行的に実施しました。

令和2年度に実施された「熱中症警戒アラート（試行）」の検証結果等を踏まえて、令和3年度から全国で運用を開始します。

2. 「熱中症警戒アラート」の運用開始について（別紙1、別紙2参照）

令和3年度から全国で運用を開始する「熱中症警戒アラート」の概要は以下のとおりです。

- 発表単位
 - 全国を58に分けた府県予報区等を単位として発表（北海道、鹿児島県、沖縄県を細分化）
- 発表基準
 - 発表対象地域内の暑さ指数（WBGT）算出地点のいずれかで日最高暑さ指数33以上と予測した場合に発表
- 発表タイミング
 - 前日の17時及び当日の朝5時に最新の予測値を元に発表
- 情報提供期間
 - 毎年4月第4水曜日から10月第4水曜日
 - 令和3年は、4月28日（水）17時から10月27日（水）5時発表分まで
- 情報提供サイト
 - 熱中症警戒アラート発表情報や該当都道府県内の予測地点毎の暑さ指数（WBGT）は環境省熱中症予防サイト等で情報提供（参考2参照）

3. 適切な熱中症予防行動の定着

なお、政府は、令和3年3月25日に策定した「熱中症対策行動計画」（参考3参照）において、以下の目標を掲げています。

中期的な目標：熱中症による死亡者数ゼロに向けて、できる限り早期に死亡者数年1,000人以下を目指し、顕著な減少傾向に転じさせる。
令和3年夏の目標：「熱中症警戒アラート」などに基づき、国民、事業所、関係団体などによる適切な熱中症予防行動の定着を目指す。

【参考1】

暑さ指数（WBGT）とは、気温、湿度、輻射熱（日差し等）からなる熱中症の危険性を示す指標である。

【参考2】

「環境省熱中症予防情報サイト」

（PC）<https://www.wbgt.env.go.jp/>

（スマートフォン）<https://www.wbgt.env.go.jp/sp/>

（携帯電話）<https://www.wbgt.env.go.jp/kt/>

添付資料

[別紙1 熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート」について \[PDF 284 KB\]](#)

[別紙2 熱中症警戒アラート 発表時の予防行動 \[PDF 1.5 MB\]](#)

連絡先

環境省大臣官房環境保健部環境安全課

代表 03-3581-3351

直通 03-5521-8261

課長 太田志津子 (内線 6350)

課長補佐 中川 正則 (内線 6359)

主査 榊原 崇広 (内線 6365)

環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室

代表 03-3581-3351

直通 03-5521-8300

室長 山本 郷史 (内線 6540)

室長補佐 石関 延之 (内線 6541)

係員 笠井 崇弘 (内線 6578)

担当 大堀 裕之 (内線 6542)

関連情報

関連Webページ

[政府における「熱中症対策行動計画」の策定について（令和3年3月25日）](#)[「気象庁ウェブサイトにおける熱中症警戒アラートのページアドレス」※4月28日以降、熱中症警戒アラート発表状況へのアクセスが可能になります](#)

熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごと^(※)に発表されます。

発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

※北海道、鹿児島、沖縄は府県予報区単位



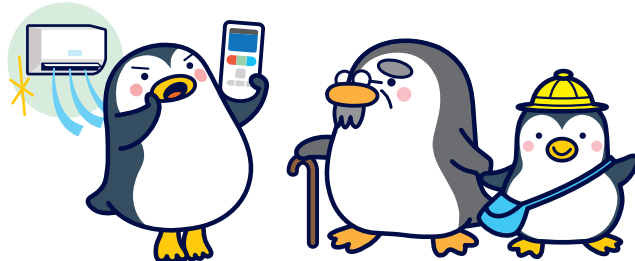
外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 昼夜を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



熱中症警戒アラート 発表時の予防行動



普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。
(1日あたり1.2Lが目安)
- 涼しい服装にしましょう。



- 屋外で人と十分な距離
(2メートル以上)を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。



外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) を行動の目安にしましょう。
- 暑さ指数は時間帯や場所によって大きく異なるため、身の回りの暑さ指数を環境省熱中症予防情報サイトや各現場で測定して確認しましょう。

※環境省熱中症予防情報サイト：<https://www.wbgt.env.go.jp/>



熱中症とは

熱中症とは、暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患です。誰でもなる可能性があり、運動中だけでなく、室内でも起こります。日頃からしっかり予防するようにしましょう。

暑さ指数 (WBGT) とは

暑さ指数 (WBGT) とは、気温、湿度、輻射熱 (日差し等) からなる熱中症の危険性を示す指標で、「危険」「嚴重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階があります。段階ごとに熱中症を予防するための生活や運動の目安が示されていますので、日常生活の参考にしましょう。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友達追加はこちら →

